



生活環境部
温暖化対策課長

のむら
野村さん

1995年度採用(行政)



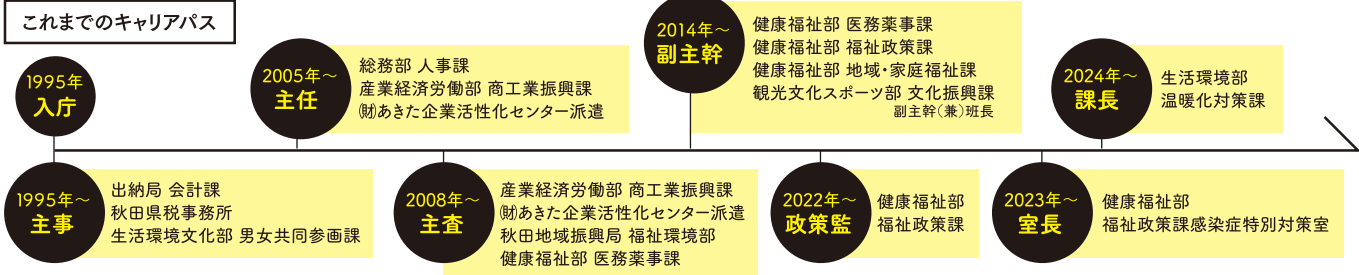
県職員を目指している方へのメッセージ

公務員の仕事は堅いと捉えられがちですが、実際には多種多様な業務の中で、広い視点で創意工夫に取り組むことができ、自分のアイデアを生かした事業や庁内外の関係者と協力しながら進めたプロジェクトで成果を上げられたときの達成感は格別です。

また、各種休暇やテレワーク、時差出勤等の制度、上司との定期的なミーティングの機会など、安心して働くことができる環境が整っています。

住みやすく、子育てしやすい秋田で、想いを自分らしく形にしてみませんか。

これまでのキャリアパス



現在どんな仕事を担当していますか？

今、地球温暖化が進行している中、秋田県でも2050年のカーボンニュートラルの実現を目指して、温室効果ガスの排出量を削減する取組を進めています。省エネルギーの推進をはじめ、食品ロスの削減や気候変動への適応等について普及啓発しながら、日常生活や事業活動で温室効果ガスの削減につながる行動を促す働きかけを行っています。

職場の環境づくりで心がけていることを教えてください。

日々をともに過ごす一つのコミュニティとして、居心地がよい職場となるよう、まずは自分から話しかけることを心がけています。その上で、皆さんの話にも耳を傾け、一人ひとりが個性や長所を生かしながら、職場全体で前向きに業務に取り組んでいける雰囲気づくりに努めています。

仕事を続けてこられた理由を教えてください。

仕事で悩んだ時などに、能力を発揮できるよう助言や励ましを与えてくださる上司の下で仕事をする機会に恵まれたことが、子育ての多忙な時期も含め、より精力的に取り組む活力となりました。
また、様々な分野の業務を経験する中で、どの職場でも仲間とともにやりがいを見出すことができ、結果として自身の成長と励みになっていると感じています。

これまでのキャリアで一番やりがいを感じた仕事を教えてください。

健康福祉部で、新型コロナウイルス感染症対策に従事したことがとても印象に残っています。医療の確保をはじめ、感染状況の把握・公表や基本的な感染対策、検査・受診などに関する広報等を通じて、医療・福祉をはじめとする関係者の方々とともにいのちを守る仕事を担えたことは、使命感に満ちた得がたい経験となりました。

派遣で得られたことを教えてください。

(財)あきた企業活性化センターでは、実地に企業の経営支援を経験し、事業計画の相談を受けるなど経営者の方々の生の声を聴くことができた貴重な機会でした。また、県内のみならず東北管内の企業等が一体となった大規模な展示会への出展支援にも携わり、企業支援を通じて、対話や交流の大切さを学ぶことができたと感じています。



さらに詳しい情報を
WEBで公開中！

▶ 女性先輩職員の声
▶ 女性管理職員の声



©2015秋田県だっちゃん

